

農作物の生育状況（6月30日現在）

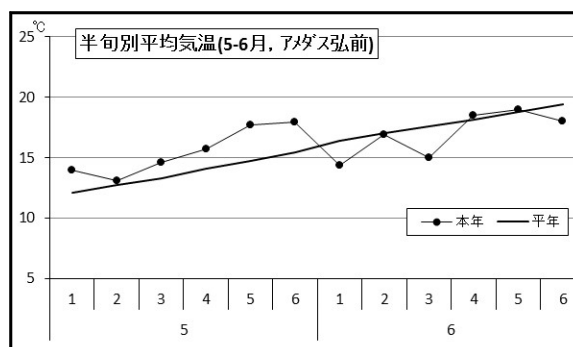
中南地域県民局地域農林水産部

1 気象

6月1～29日の平均気温は平年に比べ0.9℃低かった。降水量は平年比110%、日照時間は平年比109%となった。

6月16日に平川市及び大鰐町の一部で降雹が見られたが、被害は無かった。

6月21日に平年より7日遅く梅雨入りとなった。



2 水稲

6月30日現在の生育は、草丈は平年並からやや短く、茎数は平年並からやや少なめで、葉数から見た生育は平年並から2日程度遅くなっている。

今後、平年並みの気象で推移すると、「つがるロマン」の幼穂形成期は、平年並の7月13日頃となる見込みである。

3 小麦

管内の収穫始めは7月1日頃からと見込まれる。

4 りんご

7月1日現在のふじの肥大(横径)は弘前市独狐で4.4cmで平年(3.9cm)を上回っている。

黒星病の被害果が見られるが、発生は少なめに経過している。

カラマツ(不受精果)や隔年結果の影響で着果量のバラツキが目立つ。

5 ぶどう(スチューベン)

落花日は、弘前市石川で平年並の6月25日となった。

6 もも(川中島白桃)

6月29日現在、平川市新館の果実横径は4.4cmで平年(4.1cm)を上回っている。

7 にんにく

草丈、生葉数は平年並となっており、病虫害の発生も少なく生育は順調である。マルチ栽培は収穫終盤で、無マルチ栽培は収穫始めとなっている。

8 トマト

4月下旬定植では6段が開花、5月上旬定植では5段が開花しており、生育は順調である。

収穫は例年並みの6月20日頃から始まった。

9 花き

輪ギク、トルコギキョウとも概ね順調な生育である。